

# 「信州 山の日」の制定について

～ 信州の山 新世紀元年 ～

平成26年(2014年)2月7日  
林務部 森林政策課

## 1 「信州 山の日」制定骨子

- ① 制定趣旨 県民共通の財産であり、貴重な資源である「山」に感謝するとともに、「山」を守り育てながら活かしていく機運の醸成の機会とする。
- ② 名称 「信州 山の日」
- ③ 期日等 「信州 山の日」：7月第4日曜日  
「信州 山の月間」：7月15日から8月14日まで(1ヶ月間)
- ④ 「山」に関する取組 「山の恵み」を「親しむ・学ぶ・守る」ことを通じて「山を活かす」取組を、県の部局連携により、県民、市町村、関係団体及び企業等の協調・協力を得て推進する。
- ⑤ 制定方法 平成26年7月15日(火)の「信州 山の月間」開始日に県報掲載により制定する。

## 2 検討経過及び今後のスケジュール

- ① H25. 4. 県政モニター調査では約7割が制定賛成だが、趣旨等を明確にすべきとの意見
- ② 5. 庁内連絡会議を設置し、部局連携による検討・情報共有を開始
- ③ 6. 5 「長野県『山の日』懇話会」を開催し、趣旨、期日、名称等を検討(8.1:第2回)
- ④ 9. 3 「長野県『山の日』懇話会」から知事に意見書を手交
- ⑤ 9. 7 「長野県の『山』を考えるシンポジウム」を開催(大田市文化会館:約400名)
- ⑥ 9. 19 県独自の「山の日」に関する県の考え方を公表(県議会9月定例会提案説明)
- ⑦ 10. 県民意見の募集(1ヶ月)、全市町村長への説明(広域連合等の協力を得て県下10箇所)
- ⑧ 11. 「山」に関する県の取組の検討(平成26年度当初予算編成)
- ⑨ H26. 1. 17 県議会主催の「地方自治政策課題研修会」で市町村議会議員等に説明
- ⑩ 1. 下旬 平成26年度当初予算編成の知事査定
- ⑪ 2. 7 部局長会議(H26当初予算案と併せて協議)
- ⑫ 2. 7 「信州 山の日」制定及び「山」関連の取組の公表(H26当初予算案)
- ⑬ 2. 下旬 市町村、関係団体及び企業等に対する「山」関連の取組情報の収集開始

## 3 現状及び課題等

- 本県は、全国有数の「山岳県(3,000m級15座(全国:23座))」、「森林県(全国第3位)」
- 「しあわせ信州創造プラン」で「世界水準の山岳高原観光地づくり」を推進
- 本県の「山」の魅力や価値を再認識するとともに、最大限に活かしていくことが必要
- 「山」に関する観光振興、環境保全、森林づくり及び教育等を充実していくことが必要
- 「山」に対する県民の意識を高めるため、県独自の「山の日」の制定を検討

# 「信州 山の日」 制定骨子

## 1 制定の趣旨

長野県民共通の財産であり、貴重な資源である「山」に感謝し、「山の恵み」を将来にわたり持続的に享受していくため、「山」を守り育てながら活かしていく機運の醸成の機会として、長野県独自の「山の日」を平成26年度に定める。

※ 定義 山：3,000m級の山岳・高山から身近な里山までの全てを対象とする。

## 2 名 称

### 「信州 山の日」

#### ○ 「信州」とする理由

- ・県内外を問わず、子どもからお年寄りまで幅広く親しまれる日とするため
- ・「山の日」の制定により、県民等の責務や制限、行政処分等の行為が発生するものではないため「長野県」という特定の行政区域を示す呼称ではなく、「県民等の意識の高揚や機運の醸成」を目的に、歴史、風土、文化、環境、教育、経済、観光、産業、地域社会、健康、精神性等の様々な面で「山」の魅力や価値、課題等を共有し、「山」を総体として捉えていくため

#### ○ 表記方法

「信州」は漢字表記とし、「しんしゅう」と読み、「信州」と「山の日」の間に空白(半角)を設ける。

## 3 期 日 等

### 「信州 山の日」：7月第4日曜日

- ・登山を始めとする様々な野外活動が活発に行われるため、3,000m級の高山地帯から身近な里山まで幅広く参加することが可能な季節(7月から9月)で、天候の安定する時期(梅雨明け)であること
- ・次代を担う子ども達が「山」に触れ、親しみを持つため、様々な行事等に参加することが可能な休日(概ね夏休みに入る時期)であること

### 「信州 山の月間」：7月15日から8月14日まで(1ヶ月間)

- ・本県の地域性等(南北に長く標高差があること等)を踏まえ、「信州 山の日」を含めて各種行事や情報発信等を集中的に実施する期間とする。

## 4 「山の日」を契機とした取組

「山の恵み」に関し、「親しむ・学ぶ・守る」という3つの視点に立ち、「山を活かす」取組に力点を置きながら、以下に掲げるような取組を部局連携により推進していく。

- ・県による「山の日」の意義を広く周知するための核となる行事の開催
- ・県内各地において地域が自発的に活動し、機運の醸成を図る取組
- ・市町村、民間団体、企業、県民等と協力・連携した取組の推進

※ 県内各地で行われる様々な取組を、県、市町村、関係団体、企業、県民等の連携により集約し、一元的に情報発信する仕組みを構築

## 5 制定方法

「信州 山の日」の制定に関する要綱等を策定し、平成26年7月15日の「信州 山の月間」の開始日に県報掲載する。

# 長野県独自の「山の日」の制定に向けた検討経過

## 1 長野県の「山」の魅力・価値・課題

### (1) 長野県の「山」の魅力・価値

区 分	内 容
全国第1位	・国土地理院発表の「3,000峰」: 15座(全国: 23座) ・「山と溪谷社」調べ「山小屋数」: 173軒(全国707軒)
全国有数	・自然公園面積: 28万ha(全国第3位、第1位: 北海道(87万ha)) ・スキー場の数: 77箇所(全国第2位、第1位: 北海道(85箇所)) ・森林面積: 106万ha(全国第3位、第1位: 北海道(554万ha))
その他	・日本三大雪渓(剱沢大雪渓、白馬大雪渓、針ノ木大雪渓) ・日本三大美林(青森ヒバ、秋田スギ、木曾ヒノキ)

### (2) 長野県の「山」に関する課題等

- ・過去10年間で、「山岳・高原・湖沼」の観光利用者数は約1,100万人余減少
- ・登山道や山小屋トイレは管理面や費用面の課題を抱えており整備が進みにくい状況
- ・シカによる被害は農林業にとどまらず、交通事故の多発や高山植物の食害にも拡大
- ・本県特有の学校登山など、「山」に親しむ機会の創出が必要

## 2 「山の日」を巡るこれまでの経過

### (1) 県議会の動き

- ・H5. 9月: 県議会で国民の祝日として「海の日・山の日」の制定に関する意見書議決  
→ 平成7年: 国民の祝日に関する法律改正、「海の日」制定(H8施行)
- ・H9. 2月: 県議会で「森林づくりに県民の意識を向けさせるための県独自の『山の日』の制定」に関する質問 → 知事: 県民気運の醸成が必要と答弁
- ・H25. 2月: 県議会で「総合5か年計画の柱の一つである山岳観光の振興等を図るための『山の日』の制定」に関する質問 → 知事: H26制定に向け具体的に検討と答弁

### (2) 県の取組

- ① 平成25年度を期首とする5か年間の総合計画として、「しあわせ信州創造プラン」を策定し、「世界水準の山岳観光地づくり」を推進
- ② 民間との協働による山岳環境保全の取組や山岳遭難防止対策を拡充するとともに、新たな取組として滞在型観光地づくりを推進
- ③ 県民に身近な「里山」の森林整備を集中的に進める「森林づくり県民税」の継続
- ④ 平成28年春の第67回全国植樹祭を開催

### (3) 都道府県独自の制定の状況(H25. 4. 1現在)

区分	「山の日」等を制定( )数値: 月間等の併設			「山」や「森」に関する月間等を設定	なし
	山の日	森の日			
府県	26	13 (3)	13 (2)	5	16

- ・山梨県・岐阜県: 8月8日(「八・八」山並みに見立て、夏休み期間)
- ・静岡県: 2月23日「富士山の日」(ふ(2)、じ(2)、さん(3)の語呂合わせ)
- ・奈良県: 7月第3月曜日「奈良県山の日・川の日」(「海の日」に重ね合わせ)

## 3 長野県の「山の日」(仮称)の制定に向けた検討行程

- ① 県政モニターによる県民意識調査の実施(H25. 4)
- ② 長野県「山の日」懇話会を開催(H25. 6. 5、8. 1)、趣旨・期日・名称・取組に関する議論
- ③ 長野県「山の日」懇話会から知事に意見書を手交(H25. 9. 3)
- ④ 長野県の「山」を考えるシンポジウムの開催(H25. 9. 7)
- ⑤ 県の考え方の公表(H25. 9. 19(県議会9月定例会知事提案説明))及び県議会勉強会の開催
- ⑥ 県民等への意見募集及び全ての市町村長(広域連合等の会議)への説明(H25. 10~11)
- ⑦ 県議会主催の地方自治政策課題研修会において市町村、市町村議会等に説明(H26. 1. 17)

# 「信州 山の日」制定スケジュール

区分	H25												H26					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
県議会			6月議会 議連勉強会			9月議会 議連勉強会		11月議会		地方自治政策 課題研修会 (1/17)	2月議会				6月議会			
県						県の考え方 公表 (9/19)				制定 骨子 公表						「信州 山の日」 (7/27)	「信州 山の月間」 (7/15~8/14)	
庁内 連絡 会議等		第1回 (5/9)				第2回 (9/20)					第3回							
調査等	県政モニター	分析	結果公表				県民意見募集 (10.11~11.8)			県民 意見 公表								
長野県 「山の日」 懇話会		第1回 (6/5)		第2回 (8/1)		意見書 手交 (9/3)								(情報発信協力)		(行事 協力)		
行事					シンポジウム の開催 (9/7)												記念 行事	
予算等							予算要求				予算案公表						予算決定	
市町村							説明・意見照会				市町村への 取組照会			「山」関連の取組 情報発信			※ 独自の「山」関連 の取組の推進(必要 に応じて県行事との 連携)	
関係 団体等						シンポジウム参加	(意見収集)							「山」関連の取組 情報発信				
その他					隣県との 意見交換												(取組連携)	

# 「信州 山の日」(仮称)の制定に関する意見等について

## 1 県民意見の概要

意見件数：41件(個別の意見等への回答は、別途県HP等で公表予定)

区分	意見要旨	関係部局	
趣旨	・特になし		
期日	・前夜祭の開催 ・長野県の気候等を考えれば7月第4日曜日に賛成 ・近年の異常気象等を考慮し、8月上旬	林務部	
名称	・「信州と言えば山」という趣旨で単に「山の日」	林務部	
取組	観光	・「山」に関するおもてなし ・山や登山ルート別のスタンプラリー ・里山の登山道の標識整備 ・山で食べたもののコンクールの開催 ・信州名物を活用した登山食の提案 ・各種観光ポスターへの「山の日」の記載 ・アウトドアスポーツ大会の開催	観光部 農政部 林務部 教育委員会
	環境	・清掃登山の普及 ・国立公園内等の全面禁煙の検討	環境部
	森林	・数百年先の森づくり ・森林管理のあっせん制度の構築 ・自然豊かな山林を守る取組の推進 ・自然に親しむ交流事業の開催	林務部
	教育	・学校登山用の用具のレンタル制度を検討 ・学校登山の情報発信 ・登山技術の県内者向け・県外者向けの目的別研修 ・登山用ヘルメットの装着率向上 ・企業・報道等との共同による登山マナー向上番組の作成 ・小学生等を対象とした絵画コンクールの開催 ・他県の学校登山の誘致 ・夏休み期間の検討	観光部 教育委員会
	その他	・県警ヘリ等の出動経費の登山者等による一部負担 ・携帯電話使用可能エリアの拡大 ・入山税議論は慎重かつ十分に検討すべき ・下流域の費用負担の検討 ・山に関連した産業の活性化 ・隣県との連携による取組の推進 ・登山に貢献する者の表彰 ・「海の日」の対抗ならば必要なし ・国と別の日にする必要なし	企画部 総務部 商工労働部 林務部

## 2 市町村長からの主な意見等

意見聴取先：77市町村(市長会、町村会及び10広域連合の会議において説明・質疑)

- ・国民の祝日としての「山の日」との関係整理
- ・制定の趣旨として、山岳観光の振興を中心とし、市町村との連携強化を要請
- ・市町村独自の取組(新規・既存含めて)に対し、強制的に県独自の「山の日」を位置付けたり、行事の開催を強要したりすることのないよう配慮すべき
- ・子どもたちを対象とした「山に触れる機会」の創出が重要
- ・登山道の維持修繕への支援